

一般質問（概要）

国道一六八号について

議員 五條市管内の国道一六八号高規格道路の全線早期完成に向けての地元要望活動について尋ねる。

都市整備部長 国道一六八号の五條市管内延長は三五・六キロメートルで、現在、現道及び高規格道路を含め六〇パーセントの区間が改良済みで、残り四〇パーセントが大塔地区を中心に施工中及び調査区間となっている。

災害に強く希望の持てる地域づくりを進めるためには、高規格道路でのネットワークの早急な整備が必要と考え、国道一六八号整備促進協議会、内吉野土木協議会を通じて国・県に早急な道路の復旧・復興及び更なる整備の重要性を要望する予定である。

猿谷ダムの堆積土砂について

議員 猿谷ダムの堆積土砂について尋ねる。

都市整備部長 猿谷ダムは、昭和三十三年に完成した農業用水及び発電用に造られた利水専用ダムであり、洪水調

整機能は持っていない。ダムの計画堆砂量は約百年で六百万立方メートル、現在の堆砂量は約二百八十五万立方メートルで全体の約四割となっている。

国土交通省紀の川ダム統合管理事務所は、今回の災害の経験を経験に、洪水調整等を含めた対応の見直しを検討している。市としても総合的な見直しを国に要望してまいりたい。

薬用作物トウキについて

議員 薬用作物トウキの栽培促進補助金が九月に付いた。田でも畑でも栽培できるとお聞きしたが、市内のどの辺が栽培に適しているのか。

生活産業部長 田でも畑でも作付けはできるが、排水がよく、土の深い、やややせ地の中山間地域が適している。

議員 栽培希望者に説明会など開催したのか。

生活産業部長 各農事実行組合を通じて説明会を開催し、栽培希望者を募っていると考えている。

台風十二号災害の復興計画について

議員 仮設住宅について、施工主体が県で、このような質問をしても的確な答弁が返ってくることは望んでいないが、多くの方にこの事を理解していただき、被災され仮設住宅に入居されている方が、少しでも快適に過ごせることを願って次の四点の改善について担当部長に尋ねる。

- 一、テラスに屋根の取付け
- 二、入り口の工夫（大塔町阪本）
- 三、仕切りのアコーディオンカーテンの床とのすき間
- 四、浴室にＬ字型手すりの取付け

都市整備部長 災害救助法に基づき奈良県が建設。本市では、工期の短いプレハブ工法で、東日本大震災の仮設住宅を参考に、天辻地区特有の気象条件を勘案し、二重窓や断熱材増量等の寒冷地対策、隣家との騒音対策に配慮し、県とともに協議、確認を進めてきた。

被災者の皆様が入居して一か月余りが経過し、問題点や不都合もある。定期的に情報交換を行い、家庭菜園等を設置するなどコミュニケーションの場作りも検討している。今後、関係機関に協力を得ながら、強く奈良県に要望していく。

議員 大塔町に住み続けるためのビ

ジョンについて尋ねる。仮設住宅にお住いの〇さんは、「自宅は無事だったが、顔見知りの方がまだ発見されていない。景色が変わってしまったところでの生活は不安でなかなか戻ることができない。」と語っておられた。住み続けるために希望と喜びを持てる政策が必要ではないか。

市長 災害に強いまちづくりを目指し「五條市災害復旧・復興計画」を策定し、ハード・ソフト両面から地域の基盤整備を進めていく。国道一六八号高規格道路を軸とした地域道路網の復旧が、防災、また地域住民の日常生活を守るためにも、重要なことと考えており、併せて住民の暮らしを守る診療所やデイサービス、また学校、保育所の再開、ふれあい交流館や赤谷キャンプ場などの賑わいの場の復興、林業などの地域産業の振興にも鋭意取り組んでまいりたい。

議員 仮設住宅は二年間の居住であるが、その後の手立てはあるのか。

市長 私たちは二年で努力したいという思いはあるが、二年以上になれば、県にお願いし、また市営住宅等、何らかの形で措置は講じていかななくてはならないと考えている。